

「第6次明和町総合計画 後期基本計画（案）」についての意見募集の結果

1 意見募集期間

令和7年12月25日（木）～令和8年1月25日（日）

2 提出された意見の件数

3名（8件）

3 提出された御意見の概要及び意見に対する町の考え方

番号	意見の概要	町の考え方
1	<p>第6次明和町総合計画 後期基本計画（案）は、町の将来像や方向性が分かりやすく示されており、評価できる内容であると感じました。</p> <p>行政手続きのオンライン化の推進は、住民の利便性向上につながる重要な取組であり、着実に進めていただきたいと思えます。</p> <p>また、「明和町らしさ」を活かした地域ブランドの強化は、町民が誇りを持って住み続けるためにも大切であり、具体的な施策として展開されることを期待します。</p>	<p>本計画の将来像や方向性について評価いただき、感謝申し上げます。</p> <p>行政手続きのオンライン化につきましては、住民の利便性向上を図る重要な取組であると認識しており、デジタル技術の活用を進めながら、誰もが利用しやすい環境整備に努めてまいります。</p> <p>また、「明和町らしさ」を活かした地域ブランドの強化については、本町の歴史・文化・自然などの地域資源を効果的に活用・発信し、町民が誇りを持てるまちづくりにつなげてまいります。計画に掲げた施策を着実に推進してまいります。</p>
2	<p>若年層の定住促進に向けた子育て支援の充実については評価しますが、計画に掲げるだけでなく、実際の暮らしの中で効果を実感できるよう取り組んでいただきたいと思えます。</p> <p>その際には、未来を担う世代の意見や視点を十分に反映させることを要望します。</p> <p>本計画が町民と行政の共通の指針として共有され、着実に実行されることを</p>	<p>本計画では、子育て世代が安心して暮らせる環境づくりを重要施策の一つとして位置付けております。</p> <p>今後は、計画に掲げる施策を着実に実行するとともに、実際の生活の中で効果を実感していただけるよう、事業の充実と改善に努めてまいります。</p> <p>また、未来を担う世代の意見や視点も大切にしながら、町民と行政が共にまちづくりを進めていけるよう取り組</p>

	期待します。	んでまいります。
3	同時期に意見を募っていた「立地適正化計画」との関係性は記載しないのか	本計画は、町の将来像や分野横断的な施策の方向性を示す上位計画として位置付けており、「立地適正化計画」をはじめとする各種個別計画と相互に連携しながら推進していくものです。ご意見を踏まえ、今後は関連計画との関係性がより分かりやすく伝わるよう、計画の中での位置付けや整合性の示し方について検討してまいります。
4	計画を計画として終わらせないためにも、事業を実施するための財源についても言及してもよいのではないかと	ご指摘のとおり、計画を実効性のあるものとするためには、財源の確保や事業の優先順位付けが重要であると認識しております。 本計画では施策の方向性を示すことを主眼としておりますが、今後の事業実施にあたっては、国・県補助金の活用や民間活力の導入、既存事業の見直しなどを含め、限られた財源の中で効果的な取組が進められるよう検討してまいります。
5	P11の図について、商工業、水産業、観光、デジタル技術等、持続可能な地域であり続けるためにも必要な取組だと思います。現在は重要度も満足度も低い状況だと見受けられます。取捨選択をしながら取り組んで行ってほしい	商工業、水産業、観光、デジタル技術等は、持続可能な地域づくりに欠かせない重要な分野であると認識しております。 現状として、重要度・満足度ともに十分とは言えない分野があることについては真摯に受け止めており、今後は町の実情や社会情勢を踏まえながら、取組の優先順位や手法を検討し、効果的・効率的な施策展開に努めてまいります。
6	海外からの人の受け入れについて、どう考えていくのかももう少し詳しく記載されてもいいのでは	人口減少や労働力不足が進行する中で、海外からの人材や来訪者との共生は、今後のまちづくりにおける重要な視点の一つであると考えております。

		<p>今後は、地域の実情や町民生活への影響にも十分配慮しながら、観光や産業分野を中心とした受け入れの在り方、多文化共生の推進について検討を進めてまいります。</p>
7	<p>デジタル化が進むことは良いことですが、スマホが苦手な高齢者もいます。対面で相談できる窓口も残してほしいです。</p>	<p>デジタル化の推進にあたり、高齢者をはじめスマートフォン等の操作に不慣れな方への配慮が重要であるとのご意見については、町としても同様に認識しております。</p> <p>行政手続きのオンライン化を進める一方で、これまでどおり対面で相談できる窓口対応も継続し、誰一人取り残さない行政サービスの提供に努めてまいります。また、必要に応じて操作支援や相談体制の充実も図ってまいります。</p>
8	<p>車がないと生活が不便です。『交通の充実』を具体的に進めてほしいです。</p>	<p>本町における交通の利便性向上は重要な課題であると認識しております。特に、自家用車を利用できない方にとって、移動手段の確保は日常生活に直結する重要な要素であると考えております。</p> <p>今後は、地域の実情や利用ニーズを踏まえながら、公共交通のあり方について検討を進め、町民バスだけでなく、デマンド交通も使用しながら誰もが安心して移動できる環境づくりに努めてまいります。</p>